

# MVS-3000 モバイルビジョンシステム 概要、特徴

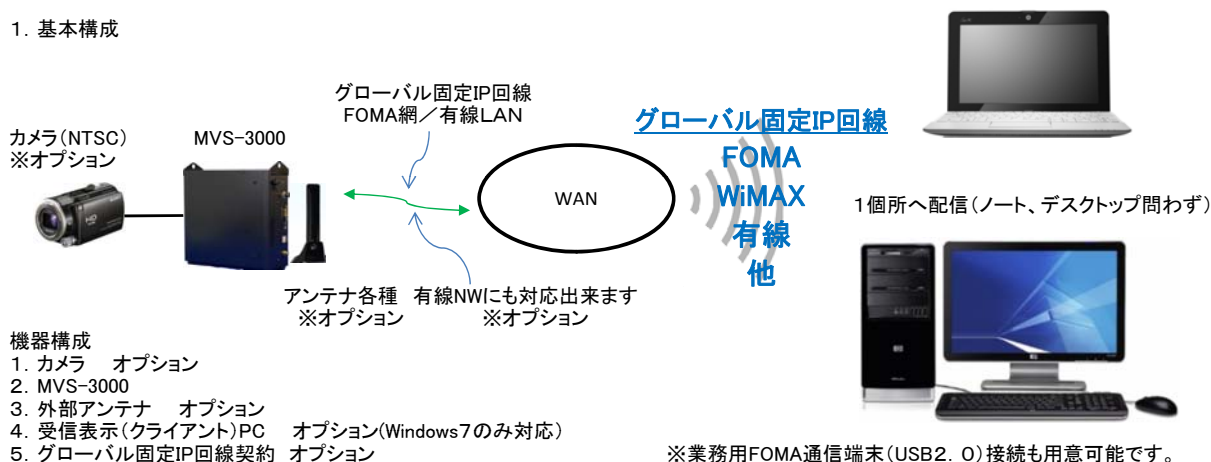
## ◆概要

MVS-3000 モバイルビジョンシステムは、FOMAユビキタスマジュールを内蔵した圧縮暗号化方式非公開の高いセキュリティを有する高圧縮画像伝送装置です。

伝送方式はTCP-IP/UDP方式から選択出来、バッファリング量も可変する事が出来ますので、強電界エリアから弱電界エリアまでお好みの設定で画像を配信する事が可能です。

装置内蔵のユビキタスマジュールデータ回線は、NTT局内において一般的な携帯電話スマートフォン等のルートと別ルートを使用しますので、携帯回線のトラフィック増大による通信不可能な事態は、起こらない回線を利用致しますので、安定したデータ通信が可能です。

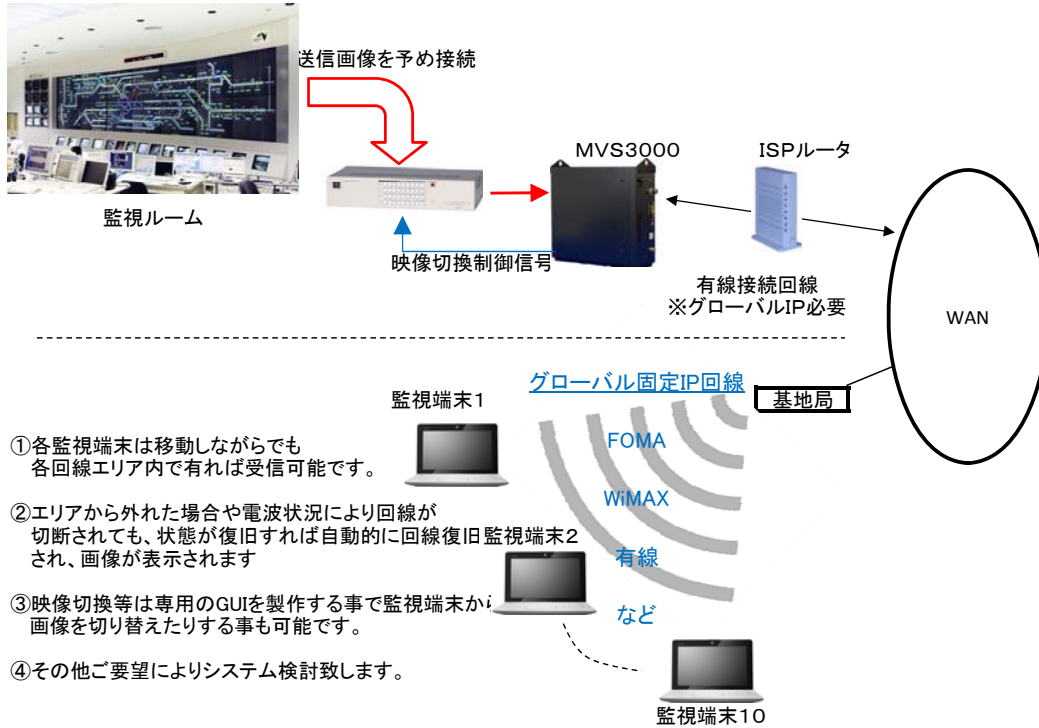
## 1. 基本構成



## ◆特徴

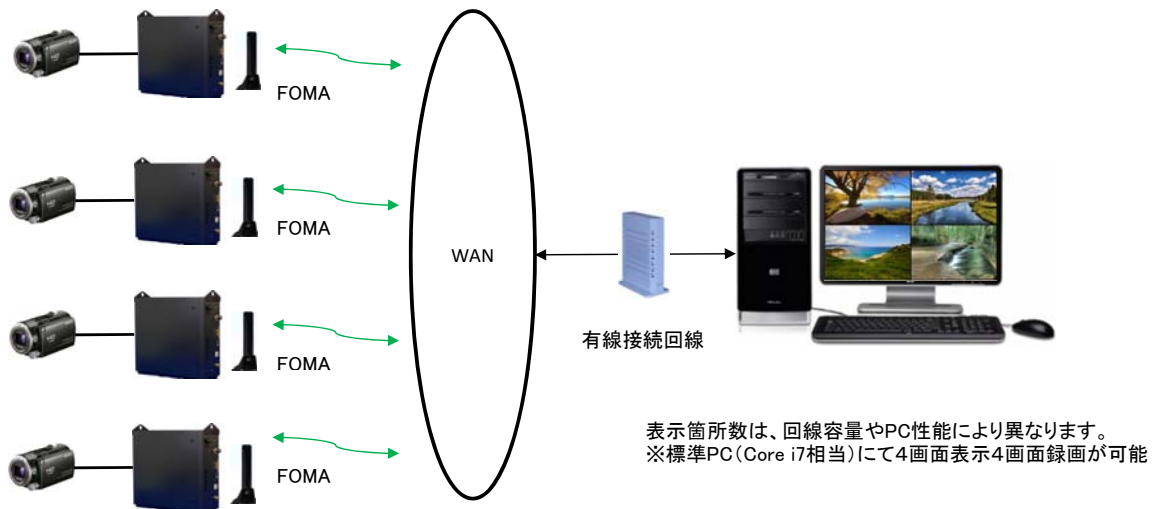
1. ユビキタスマジュール内蔵により一般品の改定サイクルでのドライバ変更などによる装置改版を極力抑えました
2. 内蔵電源独自開発による安定供給と安定動作  
過充電過放電を完全に無くし外部電源との調和を実現、外部電源駆動に対して装置の安定動作を実現しました
3. 内部回路、機構構成を一新、容易な保守、温度湿度性能を改善しています。
4. データ送信プロトコルの選択をユーザーが行う事が出来ます。  
TCP/IP、UDPのプロトコルを選択可能です。電界強度に合わせご利用頂く事が可能になりました
5. 通信回線は有線LAN、FOMA、他 グローバルIPを取得出来る回線であればご利用が可能です。  
MVS本体側はFOMA、有線LANの2種類から選択出来ます。  
クライアントは回線を問いません。
6. MVSからの送信は10クライアントまで対応可能です。  
1台のMVSからクライアントは(理論的には)10台まで画像を同時受信する事が可能です。  
但し当社製品のクライアントビューアーソフトをご購入頂く必要があります。  
※特定のクライアントだけに接続許可をするための(特注)IDブロックをすることも可能です
7. 従来の監視場所に本機を設置し、他箇所での監視をするための拡張ツールとしてご利用頂けます。  
既存機器である操作パネルI/Fなどカメラ操作I/Fを調査する事でカメラ制御整合性を持たせ、責任分界を明確にし設置できます。
8. カメラ機種によりますが、通信プロトコル変更(特注)により画像センタリング機能を持たせる事が出来ます。  
当社にて従来から開発しているポインティングシステムの一部を応用し、データ伝送帯域を最低限にした監視場所のマウスクリックセンタリングが行えます。  
回線状況が悪く画像遅延などにより操作が難しい場合、蓄積画像等による操作遅延が起こる場合などに有効です。

監視ルーム画像をモバイルPCで監視する例



複数箇所の移動監視利用

次図のように各所の画像を1台の画面に表示する事が可能です。



- ①MVSの代わりに定点監視するNWカメラを使用する事が出来ます。但しH.264などの高圧縮データが基本です。

モーターカー等へのカメラ設置

